

明治産業革命遺産における 強制動員の歴史を伝える

2020年10月18日(日) 14:00~16:30

zoomにて開催 参加費 無料

2015年7月「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」がユネスコ世界文化遺産に登録される時、日本政府は遺産の中に「その意思に反して連れて来られ、厳しい環境の下で働かされた多くの朝鮮半島出身者等がいたこと」をインタープリテーション（説明）することを「公約」しました。しかし2017年にユネスコへ提出した保全状況報告書では「意思に反して連れて来られ」「働かされた」の文言が「支えていた」という言葉に書き換えられていました。そして2019年の報告書でも具体的なインタープリテーションの内容が明らかにされないまま6月15日に「産業遺産情報センター」が一般公開されました。公開された展示内容は「端島（軍艦島）では強制労働はなかった」「朝鮮人差別もなかった」などの証言だけがクローズアップされ強制動員被害者の証言はひとつもありません。この展示と運営を請け負っている団体が「産業遺産国民会議」です。その請負金額は5年間で935,714,520円に上ります。

本来あるべき展示のあり方と産業遺産国民会議の問題点を明らかにするために標記集会を開催することとしました。ふるってご参加ください！

※ 所属とお名前を明記の上10月16日までに shinsoukyumei@gmail.com へ申込をお願いします

(ただし定員100名先着順とさせていただきます。またご参加いただけなかった方には後日動画配信等で内容をお伝えさせていただきます。)

「明治産業革命遺産と強制労働」

強制動員真相究明ネットワーク会員 竹内康人さん

「強制動員の歴史を否定する産業遺産情報センターの展示」

強制動員真相究明ネットワーク事務局長 中田光信さん

「産業遺産国民会議の財務表問題について」

強制動員真相究明ネットワーク事務局次長 小林久公さん

韓国からの報告「なぜ強制動員被害者の声が聞こえないのか」

民族問題研究所資料室長 金丞垠（キムスンウン）さん

<地域からの報告>

▽長崎の朝鮮人強制労働

岡まさはる記念長崎平和資料館・副理事長 新海智弘さん

▽長崎における中国人強制労働

長崎の中国人強制連行裁判を支援する会 平野伸人さん

▽三井三池炭鉱と強制労働

前大牟田地区高等学校人権・同和教育研究協議会会長 城野俊行さん

主催 強制動員真相究明ネットワーク

(連絡先) 〒657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-1 (公財) 神戸学生青年センター内

ホームページ: <http://www.ksyc.jp/sinsou-net/> mail mitsunobu100@hotmail.com 携帯 090-8482-9725